



岡山大学病院
OKAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL
1870

胸に、
情熱を。

2019年度

岡山大学病院研修プログラム

岡山大学病院卒後臨床研修センター医科研修部門



岡山大学病院研修プログラム 3つのS



Special	Selective	Super Academic
<p>完全オーダーメイド</p> <p>ローテーションは完全オーダーメイドで きます。general から special まで、内 科、外科からすべての専門診療科まで、 あなたの将来に沿った唯一無二のロー テーションを一緒に考えましょう。</p>	<p>多彩な協力型病院</p> <p>100 以上の協力型病院で「たすき掛け」研 修が可能です。common disease から希 少疾患まで、1 次から 3 次救急まで、手技 から臨床推論まで、多彩な経験と考察力で ステップアップしましょう。</p>	<p>ART プログラム</p> <p>研究の視点を持った臨床医、physician- scientist として、充実した研修が可能です。 EBM を使うだけでなく、EBM を作り出し ましょう。</p>

岡山大学病院の理念・基本方針

— 理念 —

高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育てます。

— 基本方針 —

人間性豊かな医療環境の実現
先進医療の開発と提供
効率的医療の提供
創造力豊かな医療人の育成

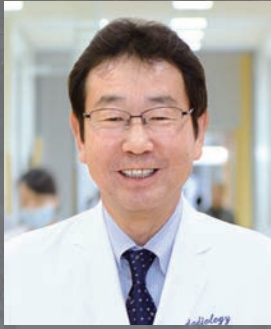
岡山大学病院 卒後臨床研修センターの研修医は 個性を生かした、未来の医療界リーダーを目指す！

「医師」は生涯向上し続け、患者やメディカルスタッフから信頼される優れた**臨床医**になるだけでなく、**教育者**として、
学生や後輩の教育・患者教育に携わりながら、未来の医療を育てることも必要です。

さらには、**研究者**として探究心を持ち、現代の医学では原因不明な疾患の病態や治療法を解明すれば、
全世界の患者を救うことにつながります。

岡山大学病院では、各研修医の個性を伸ばし、優れた臨床医、優れた臨床教育者、
優れた研究者をここ岡山、そして日本へ、さらには世界へと、グローバルな視点をもつ未来の医療界リーダーを育成したいと考えています。
そのための努力は惜しみません。

さあ、私たちと一緒に歩き始めましょう！



向きあう、つながる、広がる

岡山大学病院 病院長・卒後臨床研修センター長
金澤 右

私は、私たちの働いている岡山大学病院が大好きです。岡山大学病院には、患者さんに誠実に明るく接し、患者さんのために労苦をいとわない素晴らしい職員にあふれているからです。ですから、多くの患者さんは、岡山大学病院を好ましく思い、頼りにしてくださっていると思います。

そんな私たち岡山大学病院の使命は、特定機能をもつ大学病院として患者さんに最先端の医療を提供することですが、もう一つの大事な使命は、有用な医療人を多く育成して社会に貢献することです。私たちが岡山大学病院に育ててもらったように、私たちも若い仲間を岡山大学病院で慈しみ育て、やがてその若い仲間が彼らの後輩たちをまた育てる、そのような教育の循環こそが、岡山大学病院の大きな財産だと思います。

大学病院での研修にしかできないこと、それは、大学病院ならではの科学的な臨床マインドを多くのスタッフから学び、その実践を医療の現場で共に展開し、共に成長することだと思います。岡山大学病院の卒後臨床研修センターは、今やわが国でも有数の教育スタッフ、内容、そして設備を有する卒後臨床研修センターになりました。柔軟性に富む様々なプログラムが、医療人としての広い視野と心構え、確実な医療技術を育成します。岡山大学病院での充実した研修だけでなく、中国四国地方を中心として連携する多くの関連病院での実践的な研修も合わせ、若き医師たちが、医師としての人生のスタートを歩み出し、悩み、成長していく過程をしっかりと積み重ねていくには最適な環境です。

研修医の皆さんが学ぶ私たちの岡山大学病院は、患者さんやそのご家族と真摯に「向きあい」、地域の方々や社会と密接に「つながり」、世界に羽ばたいて「広がる」ことを目指しています。Facing your Face, Facing our community, Facing the World、研修医の皆さん、未来の素晴らしい医療人を目指して一緒に働き、学びましょう。



岡山大学の伝統を礎に、知識・技能とハートを備えた次世代の医師を育成します。

岡山大学病院 副病院長・卒後臨床研修センター医科研修部門長
大塚 文男

岡山大学医学部は、140年以上の長い歴史と伝統に育まれてきました。創立以来、岡山大学医学部からは、我が国の医療を担う多くの優秀な臨床医のみならず、素晴らしい研究者も輩出してきました。学術的にも臨床的にも大変魅力のある医学部であり、その伝統を背景に、岡山大学医学部では診療や研究を支援いただける約250の関連病院を有していることが特長です。

平成22年の卒後臨床研修制度の改定により、より柔軟な研修方式が運用できるようになりました。岡山大学病院卒後臨床研修センターでは、研修医の先生の希望やニーズに応じた研修ができるようにプログラムを改良してきました。研修2年目を中心に専門研修ができる先進プログラム・産科婦人科特別プログラム・小児科特別プログラムを設定しておりますが、今年度から新たに加わる研修施設を含め、現在約100施設の岡山大学グループの協力型研修病院と相互に協力して若手医師を育成する方針です。複数の研修病院と連携した柔軟性の高いコース設定を行い、各医師の研修目標に見合う自由度の高いプログラムを組めるよう工夫しました。またグローバルな視野をもつ医療人を育成するために、海外研修プログラムや海外からの招聘カンファレンスも多数準備しています。

さらに、臨床トレーニングと併行して基礎研究や臨床研究を希望する方には、ART (advanced research training) プログラムを活用し、大学院生として臨床に加えて積極的に研究に参加できる画期的な研修システムも選択できます。臨床医にとって、認定医や専門医を目指して研鑽することはもちろん重要ですが、同時にリサーチマインドを持ち続けることも大切です。医学の発展に欠かせない科学的探究心を持った医師つまりPhysician Scientistとして、将来の学都・岡山大学を牽引する人材に育ててほしいと考えています。

岡山大学病院では、「あなたのそばに先進医療」というモットーに表されるように、常に患者さんのそばにあり、高度な医療を提供するハートを持つことを大切にしています。皆さんが岡山大学病院でこれから卒後臨床研修を始めることは、他では経験することのできない素晴らしい医師生活の第一歩になると思っています。次世代の医療を担う皆さんにとって、岡山大学病院での研修が、知識・技能の習得に加えて、様々な診療場面で日々の感動をハートに刻み、その積み重ねと仲間との共有が大切な経験となり医師の糧となる、そんな貴重な研修医生活になると確信しています。皆さん、是非一緒に岡山大学病院で輝ける次世代医師への第一歩を踏み出しましょう。

研修プログラム紹介

Guidance of Medical Residency Training Program

研修の概要

研修医は医師卒業後臨床研修に必要とされる基本的な疾患・病態、および症状について、実践医療の現場で患者やその家族の立場を理解したうえでこれらを習得します。また、全人的な医療の遂行者としての医学知識、医療技術および医師としての基本的な態度を身につけることを目指します。

必修科として内科6ヶ月、救急3ヶ月、選択必修科3ヶ月を院内または中四国を中心とした100以上の協力型病院で履修し、地域医療研修については岡山県内を中心とし、協力型病院・施設、へき地・離島、診療所におけるプライマリケア研修を取り入れ、地域医療への積極的な参加が図られるよう計画されています。岡山大学病院での先進医療や協力型病院でのcommonな疾患の経験は、研修医のニーズに十分に代えるものです。また、必修科以外は選択科として専門研修に準じた研修が可能である他、研修医の希望に沿った複数科ローテーション研修も可能であり、オーダーメ

基本のローテーション	
・必修科と選択科の合計 24 ヶ月	・選択必修研修は大学病院で行う
・大学病院または研修協力病院（施設）群で研修	・地域医療は2年目で研修
・大学病院にて8ヶ月以上の研修	・協力型施設での研修は3ヶ月以内

イドの研修が可能です。

教育体制は非常に整っており、オリエンテーション研修（約1週間）では医師としての倫理、法制等に関する講習、研修の目標設定、多彩な実習（新人看護師との合同スキルトレーニング・コミュニケーション実習、ICLS、輸液、外科縫合、医療安全など）を行います。またシミュレーショントレーニング、研修医主導のweekend lecture、海外招聘講師によるワークショップと様々な教育の機会が完備されています。また、研修医それぞれに進路や研修についてアドバイスをを行う相談指導医が決まっており、きめ細やかな指導が可能です。専任教官、事務は研修医室の隣に常駐しており、研修医の日常的な相談にいつでも対応できる体制です。月1回の臨床研修会議では研修医からも意見が活発に出され、より良い研修システムへと日々成長を続けています。

■ 岡山大学病院先進プログラム 2019

岡山大学病院先進プログラムは、どの科を希望する方にも対応できるプログラムです。

本プログラムの希望者の方は、選択科研修において複数科のローテート研修を行うことも、専門科研修に準じた研修を行うことも可能です。

standard	通常の先進プログラム。すべての診療分野希望者対象。
ART	大学院早期スタートと卒業臨床研修を両立するプログラム。奨学金制度あり。* ART プログラム詳細については 13 ページに記載
必修科	内科（6ヶ月）、救急（救急外来夜間・休日勤務を含む3ヶ月）、選択必修（3ヶ月：外科系、麻酔科、産科婦人科、小児科、精神科より2科以上）、地域医療（1ヶ月）
選択科	総合内科、消化器内科、血液・腫瘍・呼吸器・アレルギー内科、腎・免疫・内分泌代謝内科、循環器内科、神経内科、消化管外科、肝・胆・膵外科、小児外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、形成外科、救命救急科、麻酔科蘇生科、放射線科、精神科神経科、産科婦人科、小児科、小児神経科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、病理診断科/病理部、リハビリテーション科；合計11ヶ月

先進プログラム例 岡山大学病院中心のローテート（院内23ヶ月＋院外1ヶ月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科（必修）院内6						外科系・麻酔・産婦・小児・精神（選択必修）院内3			救急（必修）院内3		
2年目	地域医療（必修）院外1	選択科院内11										

■ 岡山大学病院産科婦人科特別プログラム 2019

必修科

内科（6ヶ月）、救急（救急外来夜間勤務・休日を含む3ヶ月）、選択必修（3ヶ月：産科婦人科必修2ヶ月及び、外科系、麻酔科、小児科、精神科より1科）、地域医療（1ヶ月：産婦人科）

選択科

産科婦人科を中心として11ヶ月

産科婦人科プログラムローテート例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	産婦（選択必修）院内2		内科（必修）院内6				救急（必修）院内1.5			救急（必修）院外1.5		精神（選択必修）院内1
2年目	産婦（選択）院外6						地域医療（必修）院外1	麻酔（選択）院内3			病理（選択）院内2	

■ 岡山大学病院小児科特別プログラム 2019

必修科

内科（6ヶ月）、救急（救急外来夜間勤務・休日を含む3ヶ月）、選択必修（3ヶ月：小児科必修2ヶ月及び、外科系、麻酔科、産科婦人科、精神科より1科）、地域医療（1ヶ月：小児科）

選択科

小児科を中心として11ヶ月

小児科プログラムローテート例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年目	内科（必修）院内6						救急（必修）院内1.5		救急（必修）院外1.5		小児（選択必修）院内2		精神（選択必修）院内1
2年目	地域医療（必修）院外1	小児（選択）院外11											

研修プログラム紹介 [ローテーション決定方法]

Guidance of Medical Residency Training Program

マッチング後に採用予定者から希望をとります。

12月

各大学の卒業試験終了後に、卒後臨床研修センターより進路調査
進路相談担当の決定、救急研修先など大まかな希望調査を行います

2月

2月から3月にローテーション説明会開催
(各科から研修内容について説明)

3月

国家試験終了後に、具体的な研修科・研修施設などのローテーション希望調査

4月

第1週のオリエンテーション期間中に1年目ローテーションを最終決定

10月

地域医療研修病院との面談会
2年目のローテーション・地域医療研修について進路相談担当・卒後臨床研修
センターと相談、希望提出

12月

2年目ローテーションについて最終決定

研修
1年目

研修
2年目

※ローテーションは研修医の希望により決定しますが、
希望が重複する場合は卒後臨床研修センターにおいて調整します

研修プログラム紹介 [必修科・選択科研修]

Guidance of Medical Residency Training Program

必修科研修

1. 内科



内科研修は、院内もしくは院外の協力型病院（内科必修研修先）から選択し、**6ヶ月間**研修する。

① 院内を中心とした研修

総合内科	消化器内科	血液・腫瘍・呼吸器・アレルギー内科
腎・免疫・内分泌代謝内科	神経内科	循環器内科

上記の内科から選択し、6ヶ月間研修する。

② 院外を中心とした研修：内科（必修）を協力型研修病院にて研修する。

③ 院内・院外の内科を組み合わせることも可能である。

一般目標

基本的な内科疾患をまんべんなく経験し、医師としての基礎的な考え方、問題解決能力、臨床推論の力を身につける。

行動目標

- 1) 患者の問題点を全人的に把握できるための、医療面接、身体所見のとり方を身につける。
- 2) 患者の問題点を系統的に把握し、自ら解決できる問題点と解決できない問題点を適切に判断し、解決できない問題点には適切にコンサルテーションできる。
- 3) チーム医療の一員として、幅広い職種の医療従事者と協調してチーム医療を実践し、医療記録を適切に作成、管理できる。

2. 救急部門



救急部門研修は、院内もしくは院外の協力型病院における救急部門研修を組み合わせ（**合計3ヶ月間以上**）、研修医に必須な軽症から最重症までの幅広い救急症例を研修する。

① 院内研修

- 1) 日本救急医学会救急専門医の指導の下、救命救急研修
救急車やヘリコプターで搬入される心肺停止、多発外傷、熱傷、呼吸不全、ショック、中毒、心筋梗塞などの重症救急患者への初期対応、また、EICUにおける人工呼吸、血液浄化法、水電解質管理、栄養管理など重症救急患者管理を研修する。
- 2) 救急外来当番医指導の下、初期対応研修
2年間の研修期間を通して救急外来を受診する患者を該当診療科の指導医と共に診療する。

② 院外研修

協力型病院で、日本救急医学会救急専門医また他科専門医と共に数多くの1次、2次救急患者へのER対応を研修する。

一般目標

- 1) 医療人として必要な基本姿勢・態度を学ぶ。
- 2) 患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立する。
- 3) 医療チームの構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなる他のメンバーと協調する。
- 4) 患者の問題を把握し、問題対応型の思考を行い、生涯にわたる自己学習の習慣を身につける。
- 5) 患者及び医療従事者にとって安全な医療を遂行し、安全管理の方策を身に付け、危機管理に参画する。
- 6) チーム医療の実践と自己の臨床能力向上に不可欠な、症例呈示と意見交換を行う。
- 7) 医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、社会に貢献する。
- 8) 生命や機能的予後に係わる、緊急を要する病態や疾病、外傷に対して適切な対応を行う。

行動目標

- 1) バイタルサインの把握ができる。
- 2) 重症度及び緊急度の把握ができる。
- 3) ショックの診断と治療ができる。
- 4) 二次救命処置 (ACLS = Advanced Cardiovascular Life Support、呼吸・循環管理を含む) ができ、一次救命処置 (BLS = Basic Life Support) を指導できる。
- 5) 頻度の高い救急疾患の初期治療ができる。
- 6) 専門医への適切なコンサルテーションができる。
- 7) 大災害時の救急医療体制を理解し、自己の役割を把握できる。

3. 地域医療



2年目に1ヶ月間以上の院外の協力型臨床研修病院・施設で研修する。

一般目標

地域医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、

- 1) 患者が営む日常生活や居住する地域の特性に即した医療(在宅医療を含む)について理解し、実践する。
- 2) 診療所の役割(病診連携への理解を含む)について理解し、実践する。
- 3) へき地・離島医療について理解し、実践する。

行動目標

- 1) 地域医療の現場で医師の役割を理解し、実践できる。
- 2) 地域に密着した医療機関で、患者-医師関係、患者、家族のニーズを身体、心理、社会的側面から把握できる。
- 3) 他の医療機関との連携について理解し、病診連携について理解、実践できる。
- 4) 地域医療の現場でプライマリケアを理解し実践できる。

4. 選択必修研修



下記より、2科以上を選択し、3ヶ月間研修する。選択必修研修は岡山大学病院で行う。

外科系 消化管外科、肝・胆・膵外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、
心臓血管外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、
形成外科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科

麻酔科 **産科婦人科** **小児科** **精神科**

選択科研修

- 総合内科
- 消化器内科
- 血液・腫瘍・呼吸器・アレルギー内科
- 腎・免疫・内分泌代謝内科
- 循環器内科
- 神経内科
- 消化管外科
- 肝・胆・膵外科
- 小児外科
- 呼吸器外科
- 乳腺・内分泌外科
- 心臓血管外科
- 脳神経外科
- 整形外科
- 泌尿器科
- 形成外科
- 救命救急科
- 麻酔科蘇生科
- 放射線科
- 精神科神経科
- 産科婦人科
- 小児科
- 小児神経科
- 皮膚科
- 眼科
- 耳鼻咽喉・頭頸部外科
- リハビリテーション科
- 病理診断科/病理部：合計11ヶ月

7頁の協力型病院で行うことも可能である。

研修プログラム紹介 [たすき掛け研修] ※協力型施設での研修は3ヶ月以内

Guidance of Medical Residency Training Program

たすき掛け研修

それぞれの病院・施設の特徴を生かした研修が可能です（最長16ヶ月の院外研修が可能）。
研修先として魅力ある病院・施設がそろっています。

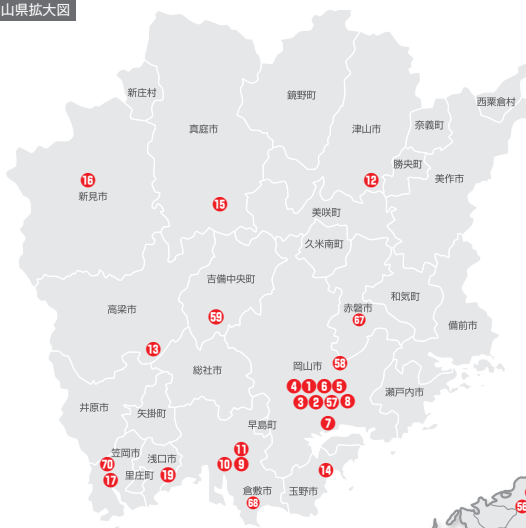
病	院
1	岡山済生会総合病院 内救 内外科 整形 皮膚 眼科 小 放 救
2	岡山赤十字病院 内 内外科 泌尿 整形 皮膚 耳鼻 精 脳 小 放 小 児
3	光生病院 内
4	岡山医療センター 内 内外科 泌尿 整形 皮膚 耳鼻 麻 小 小 児
5	岡山市立市民病院 内救 内外科 泌尿 整形 皮膚 精 脳 救 小 児
6	岡山県精神科医療センター 精
7	岡山労災病院 内 内外科 泌尿 整形 皮膚
8	岡山旭東病院 内 脳
9	倉敷成人病センター 内 内外科 泌尿 眼科
10	水島中央病院 内 内外科 整
11	倉敷中央病院 救
12	津山中央病院 内救 内外科 泌尿 整形 脳 麻 小 産 救
13	高梁中央病院 内
14	玉野市立玉野市民病院 内 内
15	金田病院 内
16	渡辺病院 救
17	笠岡第一病院 内
19	金光病院 内
20	赤穂中央病院 内 内外科 救
21	姫路聖マリア病院 内 内外科 泌尿 耳鼻 産
22	姫路赤十字病院 内 内外科 耳鼻 麻 放
23	鳥取市立病院 内 内外科 泌尿 産
24	広島市立広島市民病院 内 内外科 泌尿 皮膚 耳鼻 精 脳 麻 小 小 児 病
25	福山医療センター 内 内外科 整 小
26	福山市民病院 内 内外科 泌尿 整形 耳鼻 精 脳 放 救 小 児
27	日本鋼管福山病院 整
28	中国中央病院 内 内産
29	脳神経センター大田記念病院 内
30	尾道市立市民病院 内 内外科 泌尿 整
31	尾道総合病院 病
32	呉共済病院 内 整 麻
33	三原赤十字病院 内
34	岩国医療センター 内 内外科 泌尿 整形 耳鼻 脳 小 麻

35	山口宇部医療センター 内
36	香川県立中央病院 内 内外科 泌尿 整形 耳鼻 脳 麻 小 産 放 救
37	KKR 高松病院 内 内
38	高松赤十字病院 内 内 皮
39	香川労災病院 内 内外科 整 耳鼻 脳
40	三豊総合病院 内 内外科 泌尿 皮膚 麻 産
41	小豆島中央病院 内
42	松山赤十字病院 小 小 児
43	愛媛県立中央病院 内
44	松山市民病院 内 内 外
45	四国がんセンター 内 外 耳
46	住友別子病院 内 耳
47	済生会今治病院 内 内 外
48	高知医療センター 内 内外科 泌尿 整形 耳鼻 麻 小
49	近森病院 内 内 外 整
50	東京ベイ・浦安市川医療センター 内 救
51	福井大学医学部附属病院 内 救
52	小清水赤十字病院 救
53	練馬光が丘病院 内
54	東京北医療センター 内 内
55	神戸赤十字病院 内 内 整 麻
56	聖マリア病院 救 救

施	設
57	岡山県精神保健福祉センター 精
58	旭川荘療育・医療センター 精 小 児
59	吉備高原医療リハビリテーションセンター 小 児
60	飯塚病院 内
61	我孫子東邦病院 内
62	国立がん研究センター東病院 精
63	兵庫県立こども病院 泌
64	京都府立医科大学附属病院 救
65	東京都立松沢病院 精
66	西伊豆健育会病院 整
67	熊山診療所 内
68	倉敷市立市民病院 内 内
69	阿知須共立病院 内 内
70	笠岡市立市民病院 内

- 必修 ■ 選択
- 内 内科
 - 耳 耳鼻咽喉科
 - 救 救急科
 - 眼 眼科
 - 救 救急科
 - 病 病理
 - 内 内科
 - 精 精神科
 - 小 小児科
 - 外 外科
 - 脳 脳神経外科
 - 小 小児科
 - 泌 泌尿器科
 - 麻 麻酔科
 - 小 小児神経科
 - 整 整形外科
 - 産 産婦人科
 - 形 形成外科
 - 放 放射線科
 - 皮 皮膚科
 - リハビリテーション

岡山県拡大図



研修プログラム紹介 [地域医療研修] ※協力型施設での研修は3ヶ月以内

Guidance of Medical Residency Training Program

地域医療研修

2年目に1ヶ月以上、院外の協力型臨床研修病院・施設で研修します。
地域医療研修の研修先については本人の希望と適正を踏まえて1年目秋頃に決定します。

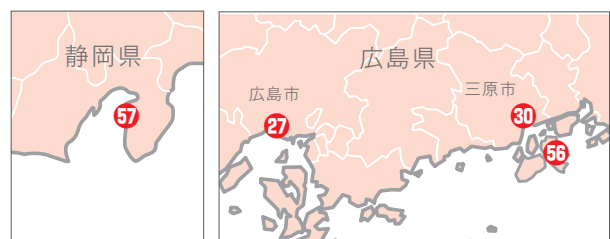
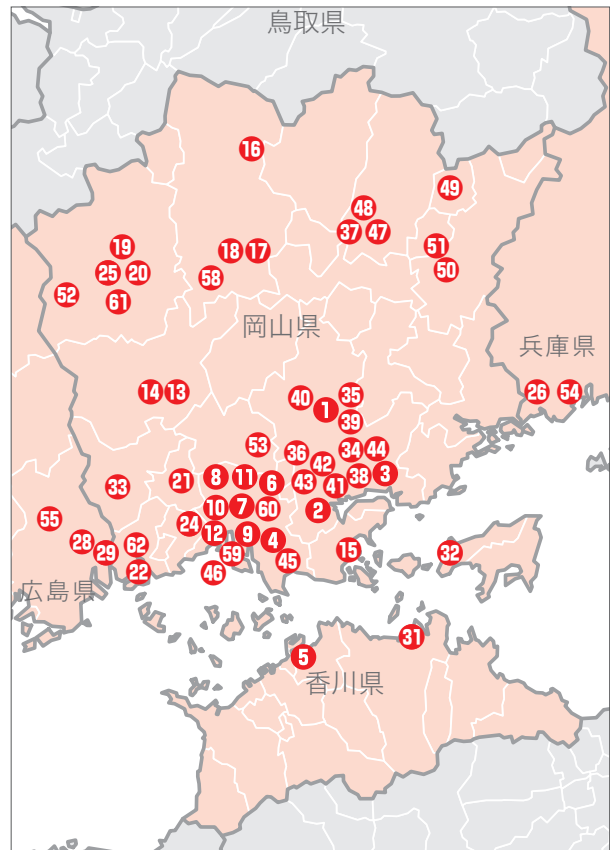


1. 安田内科医院 2. 倉敷記念病院 3. 岡山記念病院 4. 水島中央病院 5. 笠岡第一病院 6. 渡辺胃腸科外科病院 7. 因島総合病院 8. 新見中央病院

地域医療研修受入病院・施設

先 先進プログラム 産 産科婦人科特別プログラム 小 小児科特別プログラム

病 院		施 設	
1 光生病院	先	33 井原市立井原市民病院	先
2 岡山労災病院	先 産 小	34 岡山記念病院	先
3 岡村一心堂病院	先	35 旭川荘療育・医療センター	先 小
4 水島中央病院	先	36 佐藤医院	先
5 坂出市立病院	先 小	37 美作市立大原病院	先 小
6 倉敷リハビリテーション病院	先	38 安田内科医院	先
7 しげい病院	先	39 岡山市保健所	先 小 産
8 倉敷記念病院	先	40 岡山県赤十字血液センター	先 小 産
9 倉敷スイートホスピタル	先	41 青木内科小児科医院	先
10 玉島中央病院	先	42 かとう内科並木通り診療所	先
11 倉敷第一病院	先	43 重井医学研究所附属病院	先
12 渡辺胃腸科外科病院	先	44 岡山西大寺病院	先
13 高梁中央病院	先	45 倉敷市立市民病院	先
14 成羽病院	先	46 水島第一病院	先
15 玉野市立玉野市民病院	先 小	47 中島病院	先
16 湯原温泉病院	先	48 津山ファミリークリニック	先
17 金田病院	先	49 奈義ファミリークリニック	先
18 落合病院	先 産	50 湯郷ファミリークリニック	先
19 長谷川記念病院	先	51 田尻病院	先
20 渡辺病院	先	52 哲西町診療所	先
21 矢掛町国民健康保険病院	先	53 藤井クリニック	先
22 笠岡第一病院	先 小	54 赤穂はくほう会病院	先
24 金光病院	先	55 寺岡記念病院	先
25 新見中央病院	先 小	56 因島総合病院	先
26 赤穂中央病院	先	57 西伊豆健育会病院	先
27 広島通信病院	先 小	58 勝山病院	先
28 福山市市民病院	先 小	59 プライムホスピタル玉島	先
29 日本鋼管福山病院	先 小	60 南岡山医療センター	先 小
30 興生総合病院	先 産 小	61 新見市診療所群	先
31 屋島総合病院	先 産	62 笠岡市立市民病院	先
32 小豆島中央病院	先		



研修医教育指導体制

System of education and guidance for residents

岡山大学病院ならではの、
各種セミナー・ワークショップなど、
充実した学習機会ですさらにステップアップ！

岡山大学病院卒後臨床研修センターでは、基本的医学知識・手技を習得し、さらには様々な分野の知識を拡げて深めていけるよう、当院ならではの各種セミナー・ワークショップを企画しています。さらに、各診療科においても研修医向けの教育カンファレンス、症例検討会が多数開催されています。当院にはシミュレーションセンターも完備されており、シミュレーターを利用したセミナーも数多く開催されています。さらには海外研修の機会もあり、研修医の先生にとって大変刺激になっています。

このように本院の初期研修プログラムはその後のキャリアアップにつながる、非常に充実した教育指導体制を有しています。



オリエンテーション

病院長から辞令交付の後、約1週間かけてオリエンテーションを行います。研修の説明だけでなく、採血や導尿などの手技の練習や電子カルテの操作方法・輸液ポンプの使い方・心電図モニターについてなど実際の研修に即した実践的なもの、新採用看護師とのチームワーク研修など盛りだくさんです。

ICLS

医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としています。講義室での講義はほとんど行わず、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。コース修了後は日本救急医学会認定の修了証が発行されます。

研修医 OSCE

岡山県内外の病院の1年目研修医が集まり、1年目の振り返りのために研修医 OSCE を開催しています。他の病院の研修医や指導医と仲良くなり、2年目へのステップアップとして下さい。

2017年は松尾逸平先生が臨床推論でMVPを、2018年は川口満理奈先生が患者教育でMVPをそれぞれ受賞いたしました。



海外研修

海外での研修にも参加するチャンスがあります！特に将来、留学を考えている人は必見です。

振り返りミーティング

1年目研修医は2月に集まりそれまでの研修を振り返ります。自分の成長した点、反省点を考え、2年目の研修目標を立てます。



研修修了式

2年目の研修修了時には、修了式前に2年間の成果を発表します。



CPC 症例検討会

研修医自身が何らかの臨床上の関わりを持った症例について、臨床経過を十分に検討して問題点を整理し、それを剖検結果と照らし合わせて総括することにより、症例の病態生理を考え、患者を全人的に診ることを学びます。医療記録としての剖検報告書の作成だけでなく、CPCへの症例提示を通じて問題対応能力を身につけることを目的としています。[毎月1回開催]

その他

平成 27 年にオープンした医歯薬学共同施設の 4 階に新しいシミュレーションセンターがオープンしました。スキルトレーニングや、高機能シミュレーターでの症例トレーニングが行われています。



医歯薬融合型教育研究棟
シミュレーションセンター
(MoMoSim)

平成 29 年度特別セミナー

演題	所属	担当
第 27 回これからはじめるジェネラリスト養成セミナー「Dr. Deshpande の身体診察実践ワークショップ」	聖路加国際病院 / アメリカ大使館 医師	Dr.Gautam A. Deshpande
第 28 回これからはじめるジェネラリスト養成セミナー "Medical Education: Globalization and Future Perspective" "Acute abdomen and physician's competencies"	ハワイ大学 外科教授	町 淳二 先生
第 29 回これからはじめるジェネラリスト養成セミナー 「Dr. 平島のフィジカルクラブ」	医療法人徳洲会 奄美ブロック 総合診療研修センター長	平島 修 先生
第 30 回これからはじめるジェネラリスト養成セミナー 「Bed side teaching」 / 「Case conference」		Dr. Joel Branch

平成 29 年度 Weekend lecture

研修医が自ら勉強したい分野の講演を指導医に依頼し開催します。
[週 1 回開催]

演題	所属	役職	担当
「外傷患者の見方」	救急科	助教	湯本 哲也 先生
「感染症診察 キホンのキ～敵を知り己を知ること～」	呼吸器科 内科	医員	原 尚史 先生
「意識障害の診かたと対処法～あなたならどうする?～」	神経内科	講師	太田 康之 先生
「気道管理の "A"BC」	麻酔科 蘇生科	レジデント	松岡 勇斗 先生
「ドラゴンボールに学ぶ幹線施用の原則～choosing wisely を中心に～」	総合内科	医員	大村 大輔 先生
「ためになる学会発表」	卒研	研修医	松尾 聡子 先生
「VTE（静脈血栓症）診断から治療まで」	循環器科 内科	助教	更科 俊洋 先生
「人工呼吸器と遊ぼう」	救急科	助教	塚原 紘平 先生
	臨床工学部 臨床工学技士		平山 隆浩 先生 落葉 佑昌 先生
	卒研	研修医	井上 佳苗 先生
第一部「抗菌薬を使うなら」 第二部「覚えるべき細菌と抗菌薬のスペクトラム」	岡山医療センター 感染症科	医長	齋藤 崇 先生
		レジデント	山田 晴士 先生

学会発表

各診療科指導医のもと、国内・海外にて学会発表を行う機会が多数あります。
平成 29 年度は以下の研修医が受賞しました。



原田 洸 研修医奨励賞

第 110 回日本循環器学会 中国・四国合同地方会
「胸椎圧迫骨折が病態悪化に関与したと考えられた心房中隔欠損病による Platypnea-Orthodeoxia Syndrome の一例」
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科 指導



安原 大貴 研修医優秀賞

第 57 回日本呼吸器学会中国・四国地方会
「器質性肺炎と類似した肺陰影を呈し、鑑別を要した肺動脈血管肉腫の一例」
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 血液・腫瘍・呼吸器アレルギー内科 指導



岡 凌也 奨励賞

第 92 回中国四国外科学会総会
第 22 回中国四国内視鏡外科研究会
「肺癌右切胸術後に発症した食道癌に対し胸腔鏡下にて完遂し得た食道癌根治手術の経験」
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化管外科 指導



藤井 裕美子 奨励賞

第 92 回中国四国外科学会総会
第 22 回中国四国内視鏡外科研究会
「乳癌の診断と同時に妊娠がわかった妊娠期乳癌の一例」
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 乳腺・内分泌外科 指導



内藤 修子 研修医奨励賞

第 108 回日本消化器病学会中国支部例会
「術前に診断し得た脾癌に対する EUS-FNA 後の needle tract seeding の 1 例」
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器内科 指導

論文発表

各診療科指導医のもと、活発に論文報告も行なっています。
平成 29 年度は下記の研修医が論文報告をしました。



岸 良匡

「Intestinal perforation due to fish bone diagnosed preoperatively by computed tomography」
International Journal of Case Reports and Images
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 救急科 指導



原田 洸

「Platypnea-orthodeoxia syndrome induced by multiple vertebral compression fractures and atrial septal defect」
Internal Medicine
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科 指導

「A Giant Gastrointestinal Stromal Tumor with Cystic Morphology」
Internal Medicine
独立行政法人 国立病院機構 福山医療センター 消化器内科 指導



中井 友美

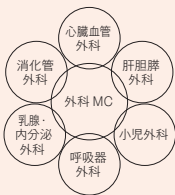
レジデントノート Vol.19
実践!画像診断 Q&A -このサインを見落とすな
「頭部打撲後に嘔吐が出現した 6 歳男児」
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 救急科 指導

マネージメントセンター

Management center

外科 マネージメントセンター

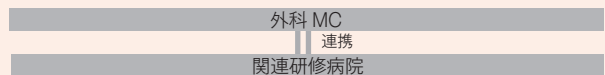
2010年より消化器外科（旧第一外科）、呼吸器・乳腺内分泌外科（旧第二外科）、心血管外科の3教室が合同で外科医を育てる3教室合同外科研修プログラムを開始しました。特に最初から専門診療科を決定する必要はありません。最初の数年間は外科全般をローテーション研修します。研修期間中は専門医取得のための手術経験、業績を毎年チェックします。外科研修のうち最初の目標となる外科専門医取得から学位取得、subspecialty 専門医取得のための専門外科研修医にいたるまでのキャリアパスを3外科教室合同で行います。これにより外科医を志す医師自身のキャリアパス選択の幅は広がり、充実した外科研修を提供できます。



特に、外科研修施設、海外留学施設などの岡山大学関連ネットワークを統合させ、さらに各外科教室が持つ全国の専門研修施設とのつながりを加えることによ

り、若い医師個々のニーズに合わせた外科研修キャリアパスの可能性は無限大に広がります。単一施設での短期間のマッチング、研修では将来が不安ですが、当センターでは関連病院が中心となり長年バックアップします。

岡山大学病院・外科 MC 組織図



消化器外科学教室、呼吸器・乳腺内分泌外科学教室、心血管外科学教室、各教室の多彩な関連病院で研修を行います。

内科 マネージメントセンター

2010年度より岡山大学病院の6つの内科が協力し、内科マネージメントセンター（内科 MC）を設立しました。内科医を目指すレジデント・研修医・学生のための相談窓口となり、キャリア形成のサポートを行います。サポートにより、新内科専門医制度における内科専門医、Subspecialty 専門医のスムーズな取得が可能です。また、岡山大学病院での研修のみならず、中四国に有する広いネットワークを生かし、関連病院での研修もバックアップします。

「内科医を目指す方」全てにオープンな窓口です。

各内科が連携を図りながら内科医を目指す人を親身にサポートします。

岡山大学病院・内科 MC 組織図



小児 医療センターマネージメントセンター

平成24年9月、岡山大学病院に先進的で総合的な小児医療の提供を目指して「小児医療センター」が設置されました。当センターは「小児医療の最後の砦」として、子どもたちに高度先進医療を安全に提供しています。

小児医療センターマネージメントセンターの特色

- 子どもに関わる診療を目指す学生、研修医が対象です
- 専門分野が決まっていない方も登録可能です
- 「子ども」をキーワードに研修しながらキャリア形成できるようにサポートします

小児医療センター（後述）を構成する小児科、小児外科、小児神経科、小児循環器科、小児血液・腫瘍科、小児歯科、小児麻酔科、小児放射線科、小児心臓血管外科が協力して運営しています。

マネージャーが学生や研修医の相談窓口となり、キャリア形成のための情報を提供します。登録後、研修・キャリアの相談や研修プログラムのサポートなどのきめ細かい対応を、担当マネージャーとコーディネーターが連携して行います。

「子どもに関わる診療を目指す方」全てにオープンな窓口です。各科横断的な研修を通して、専門的な指導を受けられると共に、人のつながりという大きな財産を得ることができます。

各科のコーディネーターについては、下記をご参照下さい。

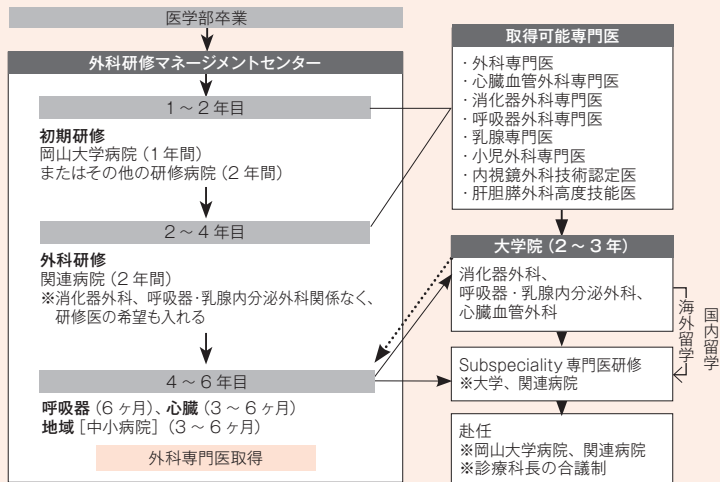
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/pedhome/common/pedcenter.html>



センター長 金澤 右
副センター長 塚原 宏一
副センター長 野田 卓男

岡山大学病院では科の枠を越えて
内科・外科・小児科を目指す研修医の先生をサポートするシステムがあります。

初期研修・後期研修・外科専門医研修から Subspecialty 専門医まで



2011年度 岡山大学病院初期研修

2012年度は18名が外科研修プログラムに参加、うち3名が岡山大学病院へ

- 1年目
 - ・外科6ヶ月のうち2～3診療科を選択する
 - ・救急部門 (3ヶ月以上)、選択必修科目 (2科目以上、3ヶ月以上)
 - ・麻酔科 (選択必修科目の2科目目として推奨)
- 2～3年目 (希望の研修病院へ)
 - ・必修科: 内科 (6ヶ月以上) 地域医療研修1ヶ月
 - ・3年目以降は外科研修を継続
 - 4年目以降もさらに研修病院のローテーション研修を継続。
外科専門医取得後は地域中小病院での半年～1年間のプライマリケア研修。
さらに専門外科研修へ。
大学院への入学は任意。
・特に留学希望者は研究、学位取得は必要。

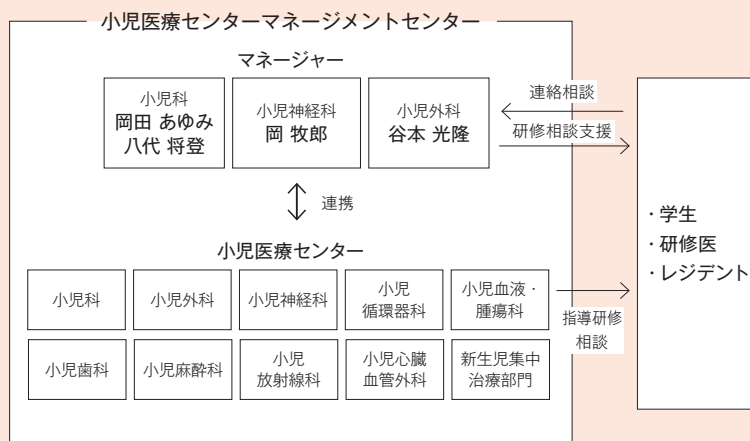
専門外科決定後も入局は不要です。診療科の変更や地元に戻るなどの理由により登録の削除も自由です。

岡山大学病院内科専門医研修プログラムの特色

- 学生・研修医・レジデント
- 1) キャリアデザインをサポート
研修デザインのサポート、キャリアの相談など、スムーズな内科研修をお手伝いし、各内科専門医取得までのキャリアデザインをサポートします。
 - 2) 広いネットワークを生かした研修環境の提供
中四国に有する広いネットワークを生かし、岡山大学病院及び関連病院での研修をサポートします。
 - 3) 新内科専門医制度での専門医取得をサポート
岡山大学病院でのレジデント研修スケジュールをコーディネートします。
 - 4) 臨床研修と並行して、大学院入学もサポート

- 初期研修終了後の内科研修では、3つのコースを準備しています。
 - 70を超える連携病院群で多彩な研修が可能です。
1. 内科総合研修コース (G コース)
Generalist を目指す場合や、Subspecialty が決まっていない内科専攻医向けの総合的な内科研修コース。
 2. 内科専門研修コース (S コース)
Subspecialty が後期研修開始時点で決まっている場合、あるいはすでに医局に入局して Subspecialty を重視した研修を希望する専攻医向けのコース。
 3. 大学院重点コース (A コース)
大学院へ進学する人向けのコース。臨床研修は S または G コースと同様だが、経験症例の充足状況に応じて研究活動に重点を置くことができる設定。

岡山大学病院・小児医療 MC 組織図



学生・研修医・レジデントの方へ

- 1) キャリア形成の相談
小児に関わる多様なキャリア形成の道筋を提案し、将来像をイメージできるようにサポートします。
- 2) 研修環境の提案
多彩な診療科、中四国を含めた広い関連病院の資源を生かし、充実した研修環境を提供します。
- 3) 多様な研修関連情報の提供
メーリングリストを利用して、専門領域毎に学会や講習会などの情報を提供します。学生の方の参加も大歓迎です。
- 4) 専門医制度との連携
新専門医制度にのっとり、基本領域の専門医資格取得と共に subspecialty 専門医資格についても支援します。
*登録は自由で、診療科への入局の有無は問いません。

ART プログラム

ART program

全国の大学病院に先駆けて2009年4月に始動した「卒後研修と博士号取得を効率よく両立させる」大学院プログラムについてご紹介します。

ARTプログラムとは

卒後臨床研修1年目から大学院に入学することで、Physician-Scientistを育て、リサーチマインドを有した医師を育てる教育体制です。岡山大学病院プログラム（先進、産科婦人科、小児科）および岡山市立市民病院プログラムの研修医はARTプログラムを選択することが可能です。

また、岡山大学病院プログラムの研修医で「たすき掛け」により他院で研修する場合も本人の希望を踏まえ、卒研センターを通じて研修先病院の許可も頂きます。

	出願期間	試験日（面接日）
ARTプログラム特別入試	6月頃	7月第2土曜日（予定）
大学院第1回一般入試	7月頃	8月頃
大学院第2回一般入試	12月頃	1月頃
ARTプログラム奨学生面接	3月頃 （大学院入学手続き時）	4月第2土曜日 （予定）



キャリアコンサルタント

早瀬 佳子

選択に迷った時、悩みが生じた時、いつでもご相談下さい。

ARTプログラムの特徴

01/ 「いつか研究してみたい・いつか留学してみたい」あなたへ。

いつか研究をしてみたい。いつか留学もしてみたい。そんな希望を持つ方は多いけれど、「いつか」はいつが最適なのでしょうか？岡山大学のARTプログラムは、あなたの「いつかは…」を後押しするプログラムです。研修医にとって臨床研修は最もプライオリティが高いもの。しかし、臨床研修をフルに行いながらもアカデミックキャリアの一步を踏み出すことは可能です。夕方18時30分からの1時間半、土曜日の一時を活用して大学院の授業を受けることは、むしろ臨床への新鮮なフィードバックになることもあります。

02/ 「本気で研究をしたい」あなたへ。

岡山大学で科目等履修により、大学院授業の先取りをしている方、学生時代より研究を続けている方については、研究と臨床の両立を行うことが課題になるでしょう。臨床研修をフルに行いながら研究を行うことは平易ではないかもしれませんが、「臨床も研究も頑張っている」同級生や、頼もしいART修了生、ART推進室など縦のつながり、横のつながりがあります。モチベーションの高い仲間と切磋琢磨しあえることは何よりの励みとなり支えとなります。

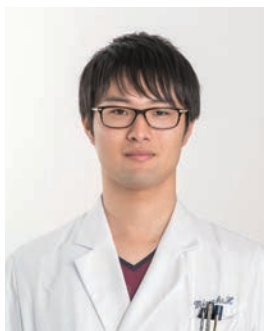
03/ 「大学院に進みたいけど授業料が負担」と思うあなたへ。

ARTプログラムは卒後研修開始時から1年間、貸与型ARTプログラム奨学金制度が整備されています。安心して大学院に進むことが可能です。

04/ 「大学院に入りたいが分野を決めかねる」あなたへ。

ARTプログラムでは、1年間は研究分野を固定せずに大学院に在籍することが可能です。この場合、ART推進室がサポートを行い、1年後には研究分野を決定します。

研修医メッセージ



平成29年度先進プログラム

三宅 広将 先生

初期研修が始まってまだ月日は浅いですが、臨床業務の中で日々知らないことの連続でとても新鮮味に溢れています。時には難しい内容についていくのがやっとなことありますが、業務後や診療の空き時間などに知識・技術を身につけて患者さんに反映することができ成長を実感しています。また同期も多く様々な診療科をローテートしているためお互い知らない部分の情報交換ができ、1・2年目のみの研修医室があるた

め気兼ねなく話すこともできます。

岡山大学病院には大学院を並行して行うARTプログラムがあり、私はそのプログラムに属して研修を行っています。研修が終わった後や土日に大学院の授業や研究をすすめていくのは決して楽ではありませんが、将来研究にも従事したいと強く考えている人には近道の一つだと考えています。

お問い合わせ

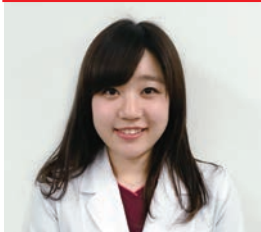
岡山大学医学部 ARTプログラム推進室 <http://art-med.jp/>

TEL.086-235-6540 E-mail:info@art-med.jp 〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1（記念会館2F）



研修医の1日・Q&A

One day of resident・Q&A



内科系診療科

平成29年度先進プログラム

赤松 由規 先生

1日のスケジュール

- 8:00～ 8:30 回診
- 8:30～ 9:00 カンファレンス
- 9:00～13:00 病棟業務（検査データチェック、オーダー、手技）・外来
- 13:00 昼食
- 13:30～18:30 病棟業務、ICなど
- 18:30～ 勉強会・自学など
- 20:00～ 帰宅



研修メモ

内視鏡検査、腰椎穿刺など必要な手技も学ぶことができます。科によっては初診外来も経験でき、患者さんからの病歴聴取、身体診察、検査まで自分一人で行える機会があります。その後指導医より改善点を聞くことでさらに力をつけることができます。大学病院では指導して下さる先生の人数が多いので困ったときはすぐに相談できます。また学会発表の機会も豊富でスライド作りやプレゼンテーションの技術も早くから学べます。

Q 入局はしたほうがいいですか？

A 新専門医制度も開始され悩みは尽きないですが、後期研修の相談やその後のキャリアなど親身に相談に乗ってくれるのは入局先の先生です。またバックアップがあるのは非常に安心だと思います。

Q 「たすき掛け」はどうですか？

A 他大学出身の私にとっては大学病院の雰囲気もわかり、市中病院での研修もいい刺激になり、また人脈も広がります。それぞれ期間も自分で選ぶことができ、自分にあった研修ができます。

Q 帰る時間は？

A 病棟業務自体は19時までには終わると思います。その後カルテを見つつ勉強する日は遅いし、用事があるときはそのまま帰ります。勉強でもプライベートでもその時間を確保できるようにテキパキ仕事します。



外科系診療科

平成29年度先進プログラム

林 直宏 先生

1日のスケジュール

- 7:30～ 8:30 回診
- 8:30～17:00 手術、外来・病棟業務、指導医と回診
- 18:00～19:00 カンファレンス、勉強会など
- 19:00～22:00 勉強、論文など、自由時間
- 22:00 帰宅
- 24:00 就寝



研修メモ

外科系診療科では、チームの一員として病棟業務だけでなく、手術や時に外来まで様々な業務を行います。学生も同じチームに配属されることもあり、学生指導をすることで、学ぶことも少なくはありません。手術や病棟業務では、教科書の中だけでは学ぶことのできない、手技の細かなコツなど、先生方の熱心な指導を受けることで、スキルアップすることが可能です。内科ローテーションとはまた違う意味で、自ら考えて動くことを要求されることも多く、積極的に診療に携わることで、たくさんの方のチャンスを得ることができると思います。また、執刀だけでなく、学会発表や論文執筆も経験することができました。空いている時間には指導医と一緒に昼食や、飲みに行くことも多く、様々な話を聞ける機会が豊富なことも魅力の一つです。

Q 大学研修のメリット

A 大学研修でのメリットは、すべての診療科がそろっていること、自分で自由に診療科を決める期間が長いことです。志望科を悩んでいる場合は、選択肢が多いためあっていると思います。また、市中病院では見られない疾患や治療なども大学なら携わることができます。

Q お給料

A 大学病院はお給料はあまり高くないと言われてはいますが、必ずしも市中病院に比べて低いというわけではなく、一人で生活する分には困りません。教科書を買うお金も十分ありますし、遊ぶお金に困るということもそれほどないと思います。「たすき掛け」先の病院によっては市中病院に一定期間以上いくことで、より多くもらえると思います。

Q 帰る時間は？

A どの科でもそうだと思いますが、基本的には仕事が終われば、です。カンファレンスや翌日の回診の準備など、夜遅くまで仕事で残ることも…。できる限り早く仕事を終えるよう頑張ります。

体験レポート

Experience report

特別セミナー・Weekend lecture



平成29年度
小児科特別プログラム
禅正 和真 先生

Weekend lecture を企画、体験して。

「人工呼吸器の使い方が全然わからない!このままじゃダメだ。」研修医として初めて担当する患者さんに人工呼吸器管理が必要となったときの正直な感想です。そこで私は Weekend lecture で人工呼吸器をテーマに、救急科医師、臨床工学技士の方々に講演を依頼しました。お忙しい中、快く引き受けてくださり、講演にとどまらず実際に人工呼吸器を使用してハンズオン形式で操作方法を教わることができました。

知の拠点である大学病院で研修することの大きな利点として、実に多くの専門家から最先端の教を講うことができる点が挙げられます。研修が進む中で、多くの学ぶべき対象に出会います。そうした対象を共に学ぶ場として、Weekend lecture はこれ以上ないと感じております。みんなで学ぶと成長も早いですし、何より楽しいです。あなたもぜひ、共に学びましょう!



平成29年度
先進プログラム
竹居 セラ 先生

将来に生きる充実した Lecture

『患者が診察室に入った瞬間から、診察は始まっている』とはよく耳にする言葉ですが、Branch 先生の身体診察はその言葉を体現するものでした。Branch 先生は患者さんの表情や動作だけではなく、爪や肌の様子、体型なども仔細に観察されており、自分が普段の身体診察においていかに外表面の観察を疎かにしていたか実感できました。

このWSではBranch先生や聴衆とディスカッションを交え、英語で症例発表をさせて頂きました。発表では、診察や鑑別診断の進め方について指導して頂けただけでなく、プレゼンテーションの工夫点、例えば一目見て理解しやすいスライドや症状や検査結果の英語での表現方法などについても学ぶことができました。今後学会などで行うであろう口頭発表や日々のカンファレンスなどにも活かせる、有意義なWSとなりました。



第3回瀬戸内レジデントレポート



平成28年度
先進プログラム
原田 洸 先生

第3回瀬戸内レジデントワークショップ(WS) 瀬戸内地区の研修医による 研修医のためのワークショップ

11月4日、「瀬戸内レジデントWS」を開催しました。「瀬戸内レジデントWS」は瀬戸内地区の研修医のネットワークづくりを目的に昨年から始まったもので、今回で3回目の開催です。当院の初期研修医が主催しているもので、今回は私が主に企画と運営を担当させて頂きました。今回は中四国地方の初期研修医を中心に60人ほどの参加者が集まり、盛会となりました。今年は講師に国立国際医療研究センター国際感染症センターの忽那 賢志先生と、順天堂大学医学部附属練馬病院救急・集中治療科の坂本 壮先生をゲストにお招きしました。会の後半には、当院の片岡 仁美先生にも参加して頂き、座談会や臨床クイズ大会などを行って終始盛り上がりました。参加者からは「自分の研修を見直すきっかけになった」「他病院の研修の様子を聞いて、モチベーションが上がった」などの感想を頂きました。今回の「瀬戸内レジデントWS」は、初期研修医がコメンターとなり、「自分たちが参加したい勉強会をつくりたい!」という思いで企画をしました。研修医にとっても、「教える側の立場になる」という貴重な機会をもつことができ、参加者と運営者の双方にとって、大変爽りの多い勉強会となりました。



研修医メッセージ

Message from resident



平成29年度 先進プログラム

岡山大学病院での 研修の魅力

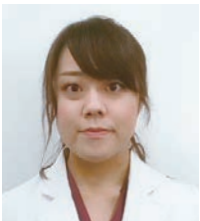
安原 大貴 先生

私は学生のときに市中病院で学外実習をして、どの病院にもそれぞれ特色や魅力的なところがあるということに気づき、「たすき掛け」制度のある岡山大学病院を研修先を選びました。

まだ進路は決めておりませんが、主に内科中心でローテーションを組んで研修しております。大学病院の内科では、たしかにコモンな症例は少なめで専門的な症例が多い印象です。しかし内科的に学べることはかなり多く、その知識が市中病院での研修に活かされていると自負しています。また大学病院では治験を行っていたり、珍しい症例に関しては論文で似た症例を検索したりとアカデミックなことが学べる機会が多いです。

一方、市中病院ではコモンな症例、主に内科に関しては感染症を多くみることになります。私は一年目の6～7月と早い段階で岡山市民病院の総合内科で研修し、感染症を中心に、その他にも食欲不振、脱水症などの多くの症例を経験しました。もちろん治療だけでなく、治療が終わったあと自宅や施設に帰るのか、慢性期の病院に転院する必要があるのかといった転帰に関することなど、高齢者医療に必要な対応の仕方を学ぶことができました。

研修先に悩んでいる方は、是非「たすき掛け」制度の使える岡山大学病院をお勧めします。



平成29年度 小児科特別プログラム

温かさが決め手でした

岡林 祐子 先生

私は元々小児科医になりたくて医学部を目指した経緯があり、学生時代もずっと小児科医になりたいと思っていました。そのため、初期研修も小児科プログラムがある病院で研修をしたいと考えていました。当院小児科プログラムの特徴は様々な病院で小児科プログラムがありますが、様々な診療グループがあり他の病院では見られない症例が集まること、地域医療研修でも小児科に関連した病院で研修できること、2年目から3年目にかけて市中病院で小児科研修ができること（後期研修を前倒しするようなイメージです）だと思います。学生時代に他の病院の小児科研修の見学もさせていただきましたが、私は岡山大学小児科を見学させていただいた際の小児科の先生方の温かさが決め手となって、岡山大学病院で研修することを決めました。研修生活を送る中でも、自分自身のことを気にかけて下さり、相談できる先生方がいるということに大変感謝しています。また、大学病院での特徴として同期がたくさんいることが、大きな魅力の一つだと思います。

たくさんの病院があり、それぞれの良さがありますが、もし将来小児科を考えている場合は、当院へ一度見学に来てみて下さい。お待ちしております。



平成28年度 先進プログラム

将来へとつながる 救急科研修

庵谷 紘美 先生

岡山大学病院の救急科研修の魅力といえば、大学病院と市中病院の両方あるいはどちらか一方を研修するか選べ、さらには岡山県内だけでなく、県外でも研修できることです。私の場合は大学病院と岡山市内の市中病院で研修しました。私の行った市中病院は1・2次救急で、救急車や外来での軽症から中等症の患者対応を求められます。大学病院では3次救急で、高エネルギー外傷、熱傷を中心とした超重症患者を診る機会が多いです。またICUがあるため、集中管理も学ぶことができます。自分に合った病院で1次から3次救急までを万遍なく経験できるのです。

1年目で多くのことを学び、医師として成長していた気がしていたのに、同期より遅めの2年目で救急科を回り始めた時、自分はこんなにも出来ないものなのかと驚いたものです。そんな私に先生方は親身になって考え方から手技に至るまで丁寧に教えて下さいました。時間をかけ、診断治療を行うことも医師の一面ではありますが、しかし、救急科研修を通して、目の前で消えていきそうな命を前に、考えるよりもまず体を動かして救命できる医師になることも大切なのではないのでしょうか。

どんな科に進むとしても患者さんの急変は避けては通れません。皆さんも岡山大学病院で救急科研修を通して、一緒に、誰よりもすぐ動ける医師を目指してみませんか。



平成26年度 産科婦人科特別プログラム

産婦人科プログラムでの 初期研修について

楠元 理恵 先生

産婦人科プログラム研修の利点は、なんといっても大学におられる産婦人科の先生方からこれ以上ないサポートを受けられることです。先生方は最初から仲間として受け入れてくれますし、「たすき掛け」先を含め率直な情報やいろんな技術を教えてくれます。産婦人科で行きたい病院がある場合は、研修できるように最大限交渉していただけます。そういったサポートはやはり当プログラムの強みだと思います。また、大学の研修全般に言えることですが、市中病院ではなかなか経験できない難しい症例をみることができます。産科的DICの完成した症例や、穿通胎盤の帝王切開術などです。稀ではあるけれど経験しておくべき症例を早いうちからみることができるのは、医師としてとても大切なことだと思います。

もちろん欠点もあります。コース終了後に診療科を変えるのはかなり難しいです。また、症例が難しいため研修医が自分で手を動かすことがなかなかできません。ただ、地域医療以外で最大15ヶ月は市中病院で研修することもできるので、手技に関してはやり方次第で十分補えると思います。

総合的に考えて、私は当プログラムで研修してとてもよかったです。初期研修の2年間でできるようになろうと思ったことはほとんどできるようになりましたし、後期研修で何をしていくべきかも段々と見えてきました。なにより大学の産婦人科の先生方だけでなく「たすき掛け」先の先生方も仲良くなれたことがとても良かったです。将来産婦人科を考えている学生さん、岡山大学産婦人科に興味をもたれた方に、是非おすすめしたいプログラムだと思います。

研修医メッセージ

Message from resident



平成 29 年度
先進プログラム
大谷 安奈 先生

「たすき掛け」研修レポート

「たすき掛け」研修の魅力

「たすき掛け」制度は、岡山大学病院で初期研修をする最大の魅力といっても過言ではありません。関連病院は岡山県内外にわたり多数あるため、自分のニーズに合わせて研修先を選択することができます。私はこの制度を利用して、大学病院では経験できないような一般診療や common disease に触れたいと思い、2つの市中病院で研修をしました。

実際に他の病院で研修をしてみて、初めは正直戸惑いもありました。大学病院と市中病院とでは、病院の規模、スタッフの人数、受け入れ患者さんの状態など様々な点で異なるため、まずは新しい環境に慣れるところからのスタートなのです。しかし、慣れてしまえばプラスになることばかりです。

市中病院だからこそできる初期診療を学べますし、他の病院の初期研修医がどのような研修をしているのを知ることのできるのも、向上心が高まります。また、病院によって雰囲気はガラリと変わるため、将来自分にとって働きやすい職場を見極めるのにも役立ちます。ひとつの病院しか知らなければ、基準となる指標は限られてしまいますが、他の病院で研修することで早いうちから視野を広げられるのも大きなメリットだと思います。

岡山大学病院の「たすき掛け」制度を有効活用し、是非あなただけの充実した研修をしてみてくださいはいかがでしょうか。



平成 28 年度
先進プログラム
松本 正樹 先生

地域医療研修レポート

藤井クリニックでの地域医療実習

地域医療と聞いて僕が最初にイメージしていたのは、基幹病院に比べて使用できる医療資源が少ないため、提供できる医療に限界があるという印象でした。藤井クリニックを選んだのも実家から通えるからという安易な考えからでした。

しかし、実際に行ってみると、地元でこれほどの医療を提供している場所があったのだと驚かされることになりました。

訪問診療というと、基幹病院と比べて提供される医療に限界があると思われがちです。実際に検査としてできるものも限られています。しかし、人の話をしっかりと聞き、

身体診察を丁寧に行うことで、頭ひとつでどれだけのことが解るのか、クリニックの先生方の診察を拝見して痛感し、初心に帰ることができました。

また先生方だけでなく、医療秘書の方々も凄く親切で、面白くて、温かくて、食事のことまで気遣いをしてくれる、あらゆる面で頼りになる方々でした。医療はチームや患者さんとの信頼関係の上に成り立つのだと改めて考えさせられる欠けがえのない研修でした。最後に、1ヶ月だけでももったいない場所ですので3ヶ月目一杯行かれることを強くお勧めします。



回り道こそ近道

岡山大学病院 臓器移植医療センター

大藤 剛宏 教授

「最初から肺移植医を目指したわけではない」。研修医時代、何でもがむしゃらに食いついていた頃を懐かしく思う。CVラインや気管内挿管、内視鏡や透視検査、アッペ・ヘルニア…、できるようになるまでが最も楽しい。人並みにできるようになると、今まで見えてこなかったその奥深さに気づき、天狗になっていた自分が恥ずかしくなり、少し落ち込んだりもした。ならばその道を究めようと再び燃える…。今までの医者人生はこの繰り返しだ。登山家はよく言う「目の前の山が大きければ大きいほどその頂上に立つてみたくなる…」と。私の目の前に現れた「肺移植」という大きな山は、当時執刀できる外科医も少なく、また世界的にも成功率の低い治療であった。それだけに登ってみたいという気持ちはさらに大きくなった。移植手術は心臓と肺両方の技術を要し、免疫抑制等内科的知識もいる。何でも自分で責任を持つ小さな病院で培った度胸は、世界初となる様な難手術を決断する時に背中を押してくれた。山頂への近道はないが、様々な経験はベースキャンプの標高を上げる。そこからだとみんなが目指すそれぞれの山頂は意外と近いのではないかな？



マッチング状況・研修医処遇

Information of matching・treatment of residents

マッチング実績大学一覧

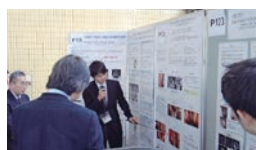
岩手医科大学、獨協医科大学、筑波大学、埼玉医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学、日本医科大学、杏林大学、東邦大学、北里大学、信州大学、山梨大学、浜松医科大学、富山大学、金沢大学、金沢医科大学、昭和大学、福井大学、岐阜大学、藤田保健衛生大学、愛知医科大学、近畿大学、大阪医科大学、関西医科大学、兵庫医科大学、滋賀医科大学、京都府立医科大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学、岡山大学、川崎医科大学、広島大学、香川大学、徳島大学、高知大学、愛媛大学、鳥根大学、鳥取大学、山口大学、福岡大学、産業医科大学、久留米大学、長崎大学、佐賀大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、セグド大学、浙江中医薬大学、中国医科大学

マッチング状況

採用年度	マッチ者数	自学 出身者数	男女比	
			男	女
2014年度	39	20	26	13
2015年度	44	22	31	13
2016年度	37	16	26	11
2017年度	46	20	24	22
2018年度	45	20	23	22

総合診療棟西棟

2017年5月より総合診療棟西棟が始動しました。5階には卒研センターのフロアがあり、新・研修医室には、PCルームや仮眠室、団らんコーナーなどが設けられています。病棟とのアクセスも良好で、カンファレンスルームも隣接しています！



研修医処遇 (2018年度)

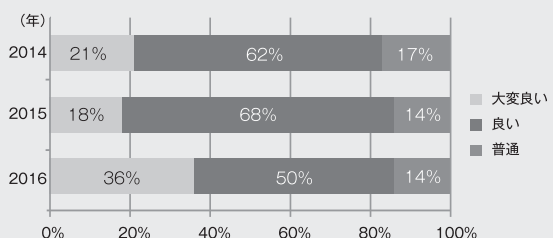
身分	医員（研修医）として採用（1年毎の更新とする。）
給与	月額337,600円（税込） （給与187,600円＋臨床研修手当150,000円、超勤手当を含む。）
通勤手当	通勤距離が片道2km以上からの場合、支給される。 （手当額は、距離・方法により異なる。）
勤務時間	8：30～17：15 ※救急科研修期間及び救急外来はシフト勤務（夜勤有り）による。
休暇	年次有給休暇、夏季休暇、年末年始、忌引、病気休暇（無給）など。
宿舎	なし。現在、検討中。
社会保険など	厚生年金及び全国健康保険協会の健康保険に加入。 労災保険、雇用保険あり。
医療保険	研修医が自主的に加入した保険（必修）及び大学病院において加入する保険。
病院内の研修環境	総合診療棟西棟5F北西側は主として研修医の研修のために整備されたスペースである。 研修医専用の医局、休憩室、仮眠室、自習室、カンファレンスルームも隣接している。 また、スタッフルームも研修医専用医局に隣接しており、いつでも研修医の相談に対応できる。
備品	机、椅子、LAN端末、ロッカー、ソファ、仮眠ベッドなど。
教育資料	研修で必要となる書籍、インターネットでの文献検索など（UpToDate、医中誌）は、無料で自由に利用可能なパソコン環境が整備されている。院内PHSは病院の費用で研修医に貸与する。
学会活動	学会に参加し発表する際は旅費・参加費支給。 （回数・上限有り）
評価	EPOC（研修医オンライン評価システム）にて評価。
事務担当	研修医に関する事務担当者5名 （卒研センター1名、病院総務課卒業後研修担当4名）

シームレスな新専門医研修に向けて

2018年4月より、「新たな専門医研修」が始まる予定です。
岡山大学病院では、各診療科が専門研修プログラムを準備しています。基幹施設である大学病院と、岡山大学病院ならではの特色のある多様な連携施設での研修により、到達目標に沿った研修を提供します。また、学術活動も活発であり、大学図書館やUpToDateを使用し、EBMに基づいた医療の実践や、学会発表・研究の機会も豊富です。さらに医学生や初期研修医への指導を通し、知識や技能の定着を図ることができます。岡山大学病院では、初期研修から引き続き、基本領域・subspecialty領域専門医の取得、生涯学習にシームレスに移行できます。

研修医アンケート結果 (2016年3月実施)

研修医に岡山大学病院の研修内容についてアンケート調査を行っています。岡山大学病院研修に対する満足度が高いことが窺えます。



年間スケジュール

Yearly schedule

医 学 生		研 修 医
<ul style="list-style-type: none"> マイナビフェア 	4月	<ul style="list-style-type: none"> 入職式 [1年目] 歓迎会 [1年目] 研修医 ICLS [1年目] 
<ul style="list-style-type: none"> マッチング参加登録開始 岡山大学プログラム応募開始 オープンホスピタル <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>オープンホスピタル オープンホスピタルでは診療科がブースを設置し、説明を聞くことができます。院内ツアーも行います。</p> </div>	5月	
<ul style="list-style-type: none"> レジナビフェア大阪 岡山大学プログラム応募締切 マッチング説明会 (5年生対象) 	6月	<ul style="list-style-type: none"> 卒研による個人面談 [1年目・2年目]
<ul style="list-style-type: none"> マッチング参加登録締切 岡山大学病院研修医採用試験 	7月	<ul style="list-style-type: none"> 納涼会 [1年目・2年目] 
<ul style="list-style-type: none"> マッチング希望順位登録受付開始 マッチング希望順位登録中間発表前締切 マッチング中間発表 	8月	
<ul style="list-style-type: none"> マッチング希望順位登録最終締切 マッチング組み合わせ結果発表 	9月	
<ul style="list-style-type: none"> マッチング希望順位登録最終締切 マッチング組み合わせ結果発表 	10月	<ul style="list-style-type: none"> 次年度2年目研修医ローテーション調査 [1年目] 地域医療研修病院との顔合わせ会 [1年目] 卒研専属医師による個人面談 [1年目・2年目]
<ul style="list-style-type: none"> 次年度1年目研修医進路相談科調査 マッチング説明会 (4年生対象) 	11月	
<ul style="list-style-type: none"> マッチング説明会 (新6年生対象) 	12月	
<ul style="list-style-type: none"> 医師国家試験 次年度1年目研修医ローテーション調査 ローテーション相談会 (又は3月) 	1月	<ul style="list-style-type: none"> 次年度2年目ローテーション決定
<ul style="list-style-type: none"> 医師国家試験 結果発表 	2月	<ul style="list-style-type: none"> 研修医OSCE [1年目] 
	3月	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りミーティング [1年目] 研修修了式 [2年目]

研修医募集要項

- 【応募資格】 2019年3月に卒業し(あるいは既卒)、2019年第113回医師国家試験を受験する者で、2018年度医師臨床研修マッチングシステムに参加登録を行う者
- 【応募期間】 2018年6月18日(月)～7月9日(月)
持参の場合:平日のみ受付 9:00～17:00
郵送の場合:応募期間内必着
- 【提出書類】
 1. 医師卒業臨床研修願(本院所定のもの)
 2. 履歴書(本院所定のもので、写真貼付のこと)
 3. 卒業(見込み)証明書
 4. 成績証明書
 5. 受験票及び写真票
 6. 返信用封筒:長形3号封筒に、出願者本人の宛名を記載したもの。(切手は不要です)

- 【応募先】 岡山大学病院 総務課 卒後研修担当
- 【募集人数】 46名程度
- 【選考試験日】 2018年7月31日(火)、8月5日(日)、8月11日(土・祝日)、8月28日(火)
- 【選考方法】 面接と試験(医学的知識・技能・態度の評価を含む)
- 【採用時期】 2019年4月1日採用予定
- 【その他】 応募書類及び詳細はホームページをご覧ください。
<http://www.okayama-u-hp.jp/>

サポート環境

Support Environment

岡山大学病院は、病院を挙げて研修医生活をサポートしています。
アメニティ施設・設備が院内の各所に点在しています。

ショップ

総合診療棟西「マルシェ」他、医科外来診療棟コンビニエンスストア・薬局なども完備されています。



ローソン (医科外来診療棟 1階)



売店 マルシェドゥ ボンテ (総合診療棟西棟)



薬局ぶちふるま (総合診療棟西棟)



生協コジカショップ (記念会館 1階)

銀行・ポスト

中国銀行 ATM が設置されている他、院内に郵便ポストを設置しています。



ATM：中国銀行 (医科外来診療棟 1階)



ATM：トマト銀行 (入院棟 1階)

図書館

医学部図書館（鹿田分館）を利用することができます。申請をすれば、本学図書館（津島）も利用可能です。



図書館（鹿田分館）

レストラン

H26 に中央診療棟 1階のレストランがリニューアルされました。



カフェテリア ハンビ (記念会館 1階)



レストラン (中央診療棟 1階)

カフェ

研修の合間に美味しいコーヒーで休憩してみたいかですか？



上島珈琲店 (中央診療棟 1階)



ONSAYA COFFEE (図書館 1階)



スターバックスコーヒー (医科外来診療棟 1階)

研修医 ROOM

総合診療棟西棟 5階の卒後臨床研修センターでは、研修医室（各自の机有り）、ロッカールーム、仮眠室（男女別）、研修医カンファレンスルームが設備され、研修や勉強がしやすい環境をご用意しています。



学習室



研修医室



研修医仮眠室

子育て支援

お子さまがおられる研修医の先生も、院内に保育園があることで安心して研修に集中することができます。



保育園（なかよし園）



病児保育（ますかつと）

職員施設

快適で充実した職場環境の整備を目的として H29 年に開設されました。11階施設は展望も最高です！



リフレッシュルーム (総合診療棟西棟 5階)



女性専用休憩室 (入院棟西 11階)



職員休憩室・和 (入院棟西 11階)



職員専用食堂棟の木食堂 (入院棟西 11階)

キャリア支援

Career support

岡山大学病院にはライフイベントと医師としてのキャリアの両立を目指す医療人を支える「医療人キャリアセンター MUSCAT」が設置されています。いきいきと働きキャリアアップを目指す病院として全国的にも注目される取り組みです。

ワークライフバランスの視点を備え、出産・育児・介護などの様々なライフイベントを経験しながらも生涯医師としての研鑽を続けられるよう病院全体として応援しています。研修期間中に妊娠や病気などで研修を休む場合は卒後臨床研修センターにご相談下さい。休業を3ヶ月以上とならなければ2年間の研修修了が可能です。妊娠中や復職に関する相談にはキャリアセンターが親身に対応します。出産後も授乳室、保育園、病児保育ルームなど充実した育児支援を活用してスムーズな復職が可能です。

地域医療人育成センターおかもやま (MUSCAT CUBE)

充実した最新設備を誇る
人材育成施設



平成24年9月にオープン、1階は高機能シミュレーションセンター (MUSCAT Sim) で、研修医の先生方のスキルトレーニングに最適です。

母性 医療人育成センター MUSCAT
マタニティ白衣
レンタルサービスのご案内

医療人キャリアセンターMUSCATでは現在妊娠中の研修医のために、マタニティ白衣をご用意しています。ご希望の方は電話でのお申し込み期間にご記入の上、下記までご連絡ください。

マタニティ白衣の特徴

- 妊娠中に着用しやすい素材を使用することで、ご自身への負担も軽減しやすくなっています。
- 産後の着替えも楽にできるデザインです。
- スリット入りのデザインで、産後の着替えが楽にできるようになっています。

お申し込み期間：妊娠27週～産後1週間
お申し込み先：岡山大学病院 医療人キャリアセンターMUSCAT
TEL: 086-235-6963 FAX: 086-235-6834

マタニティ白衣の無料レンタルもできます

一時あずかりのごあんない
MUSCAT CUBE

医療人育成センターMUSCATでは、研修医の先生方のために、一時あずかりのごあんないサービスをご用意しています。ご希望の方は電話でのお申し込み期間にご記入の上、下記までご連絡ください。

サービス内容

- 研修期間中に、ご自身の都合で、研修を休む必要がある場合、MUSCAT CUBEにて研修を再開いただけます。
- 研修期間中に、ご自身の都合で、研修を休む必要がある場合、MUSCAT CUBEにて研修を再開いただけます。

お申し込み期間：妊娠27週～産後1週間
お申し込み先：岡山大学病院 医療人キャリアセンターMUSCAT
TEL: 086-235-6963 FAX: 086-235-6834

お子さまの一時預かりもあります



医療人支援室：授乳、託児が可能です

研修医メッセージ



平成26年度先進プログラム

光井 佳代子 先生

私は初期研修1年目を市中病院で行い、産休を経て主人の転勤に伴い、2年目を岡山大学病院で研修させていただきました。研修を再開するにあたって、新しい環境下であるということや、1年目の研修時にはなかった時間的制限と産休期間中に失ってしまった知識の多さにとまどうことばかりでした。

しかし共感してくださる先生、勉強不足の私に基礎からご指導してくださる先生、たくさんの先生にお世話になり、充実した研修生活を送ることができました。また、卒後臨床研修センターの先生には、前医での

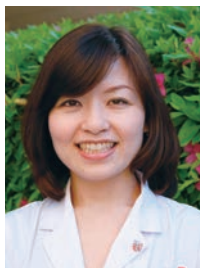
研修を中断する前からお世話になり、私の途中からの岡山大学病院での研修を受け入れていただきました。研修を始めてからも、会うたびに「先生大丈夫?」と声をかけていただいたり、相談ののってくださったりと大きな心の支えとなって下さいました。

岡山大学病院の良いところは、各々の科に多くの医師がいて、仕事に関してはもちろん、生活面に関しても様々なアドバイスをいただけること、また、卒後臨床研修センターというバックアップのもとで研修ができるということだと思います。

子育てと仕事の両立に不安を抱えている方、岡山大学病院なら大丈夫です。ぜひ一度卒後臨床研修センターの先生にご相談してみてください。

スタッフからのメッセージ

Message from Staff



卒後臨床研修センター
医科研修副部門長
三好 智子

医師として、人として、自ら成長して下さい！
“絆”を作るプログラムで皆さんを応援しています。



卒後臨床研修センター
医科研修副部門長
小川 弘子

皆さんの医師としての歩みをサポートしたいと思います。
お気軽に見学にいらして下さいね。



卒後臨床研修センター
医科研修副部門長
野間 和広

どんな時でもみんなのそばにいます。嬉しいことも悲しいことも一緒に2年間歩んでみませんか。待っています。



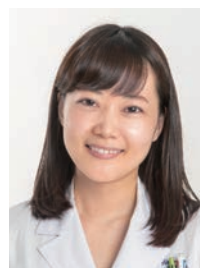
卒後臨床研修センター
助教
佐藤 明香

皆さんには大きな可能性があります。それぞれの目標に向かい、大きく羽ばたいて下さい。



卒後臨床研修センター
助教
矢野 修也

研修医2年間はその後の医師像を決める大切な期間です。そんな大切な研修期間が充実するよう全力でサポートします。



卒後臨床研修センター
助教
宇賀 麻由

微力ながらサポートがんばります！



卒後臨床研修センター
アドバイザー
片岡 仁美

研修医の先生が生き生きと研修でき、着実な成長を重ねられるよう支えたい、その思いでこの仕事に携わって10年目です！




卒後臨床研修センター
事務職員
竹下 香奈恵

皆様の快適で充実した研修を応援・サポートいたします。

岡山大学病院
卒後臨床研修センター 医科研修部門


〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 (総合診療棟西棟5F)
TEL.086-235-7508・7877 FAX.086-235-7636
E-mail : sotsugo@adm.okayama-u.ac.jp
http://www.okayamau-hp.jp/

 <https://www.facebook.com/okadairecident>




 バスでお越しの場合

- 岡山駅東口バスターミナル「4番乗り場」から「2H」系統の岡電バスで「大学病院」構内バス停下車
- 岡山駅東口バスターミナルから「12」・「22」・「52」・「62」・「92」系統の岡電バスで「大学病院入口」下車
- 岡山駅前または高島屋前から循環バスで「大学病院入口」下車

 タクシーでお越しの場合

- 岡山駅タクシー乗り場から約5～10分

 路面電車でお越しの場合

- 岡山駅前から「清輝橋」行きで約12分
「清輝橋」下車西へ徒歩約5～10分